

令和二年度 PDA 熊本県高校生即興型英語ディベート交流大会

熊本県教育庁高校教育課 令和2年度（2020年度）熊本県高等学校英語教師指導力向上事業における 即興型英語ディベート研修

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2021年2月20日（土）9:45-15:30

会場：オンライン（Zoom）

参加校：10校、28チーム（熊本県立熊本高等学校、熊本県立熊本第一高等学校、熊本県立熊本第二高等学校、熊本県立熊本西高等学校、熊本県立熊本北高等学校、熊本県立鹿本高等学校、熊本県立宇土高等学校、熊本県立八代高等学校、熊本県立水俣高等学校、熊本県立熊本商業高等学校）

参加者：生徒103名、教員45名

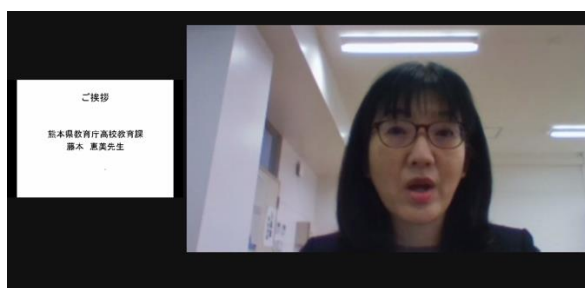
スタッフ：PDAスタッフ

熊本県教育庁高校教育課（令和2年度（2020年度）熊本県高等学校英語教師指導力向上事業における即興型英語ディベート研修）

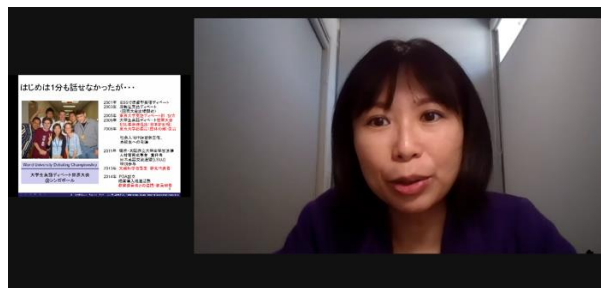
一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）



昨年、熊本県立熊本第二高校に一同が会し、第1回目となるPDA熊本高校即興型英語ディベート交流大会が開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響もありオンラインでの開催となりましたが、昨年よりも参加校が倍に増えての開催となりました。開会式では、熊本県教育庁高校教育課藤本恵美先生より、「今年は生徒約100名、教員約50名の参加です。この交流大会の目的はパラメンタリーディベートについて知ること、そして教員研修です。生徒の皆さんも、英語でディベートすることは簡単ではないと思いますが、ぜひチャレンジして楽しんでください。」とエールが送られました。次に、PDA代表理事である中川智皓（大阪府立大学工学研究科准教授）が挨拶・参加した10校の学校紹介・ルールの確認・POIの確認を行いました。



熊本県教育庁高校教育課 藤本先生のご挨拶



PDA代表理事 中川智皓より挨拶・参加校紹介

開会式が終わると、練習ラウンドのスタートです。表彰の対象となる予選を始める前に、ディベートのルール確認やZoom操作の練習を兼ねて練習ラウンドを行います。論題は、「*We should ban school uniforms. (制服を廃止するべきである。)*」でした。今日初めて会った生徒と自己紹介をし、ディベートの準備に取り掛かりました。また、今回は、3ラウンドを利用し、高校教員約40名がジャッジを務めました。ディベートの司会進行、勝敗の決定、フィードバックを全教員が経験しました。



熊本商業高校 B チームによるスピーチ



熊本第二高校ディベートの様子

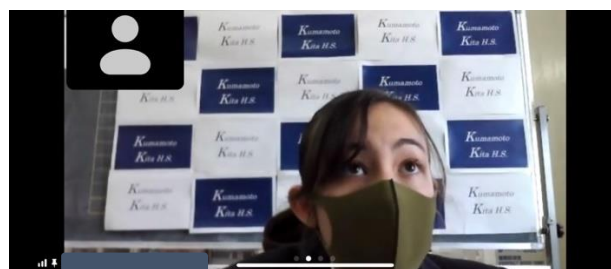


熊本第二 A vs 熊本西 E



教員ジャッジによるフィードバック

練習ラウンドが終わるといよいよ表彰に関わる学校対抗のラウンドの始まりです。第 1 ラウンドのお題は「*Schools should welcome Valentine's Day. (学校はバレンタインデーを歓迎すべきである。)*」でした。むしろ関係が悪化するのではないかという人間関係の問題から、アレルギーなどの健康被害まで多岐にわたるアイデアが見られました。また、POI も活発に交わされ、相互理解に努めようとしていました。



堂々とスピーチしています(熊本北高校)



POI に返答しています(鹿本 A vs 熊本西 B)



ジャッジによるフィードバック

続く第2ラウンドのお題は、「*All senior high schools and junior schools in Japan should be unified. (日本のすべての高校と中学校は中高一貫校に統一するべきである。)*」でした。参加校の中には、中高一貫の学校もあり、コミュニケーション力や授業の進度、受験の有無など幅広い観点で議論が行われました。



アイコンタクトしながらスピーチ(水俣 vs 第二) ハキハキと自信を持ってスピーチ(鹿本高校)

そしてジャッジを務めた教員が高く評価した生徒6名によるエキシビションディベートが始まりました。論題は「*With introducing e-learning, the number of classes which teachers teach should be reduced by half at high school. (e-learningを導入し、高校教員の担当授業数を半減すべきである。)*」でした。高校教員の負担だけでなく、環境問題にも着目するなど、ジャッジも驚くアイデアが飛び交いました。エキシビションディベートが終わると、お互いの健闘をたたえてエアークラップを行いました。



堂々とスピーチしています



ジャッジ実技試験を兼ねたジャッジコメント

【表彰】

〈エキシビジョンディベーター賞〉

- ・ PM ■■■■■さん (八代高校)
- ・ LO ■■■■■さん (熊本西高校)
- ・ MG ■■■■■さん (第一高校)
- ・ MO ■■■■■さん (熊本高校)
- ・ LOR ■■■■■さん (第二高校)
- ・ PMR ■■■■■さん (熊本商業高校)



エアー握手の様子

〈チーム賞〉

- 1位 熊本高校 C
- 2位 第一高校
- 3位 熊本高校 B
- 4位 熊本高校 A
- 5位 第二高校 F

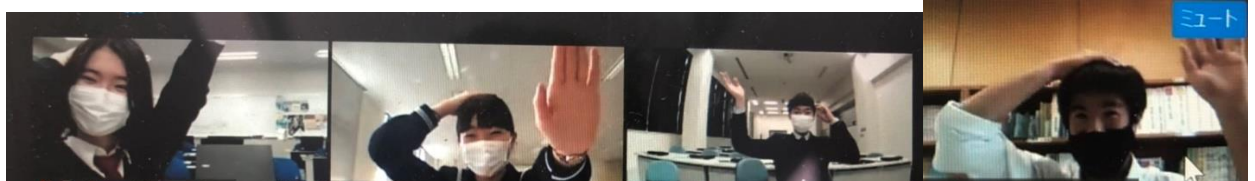
〈ベストディベーター賞〉

- ・ ■■■■■さん (熊本北高校)
- ・ ■■■■■さん (第二高校 H)
- ・ ■■■■■さん (第一高校)
- ・ ■■■■■さん (熊本高校 C)



〈POI 賞〉

- ・ ■■■■■さん (水俣高校)
- ・ ■■■■■さん (八代高校)
- ・ ■■■■■さん (宇土高校)
- ・ ■■■■■さん (熊本高校 C)



参加者の声（アンケートより抜粋）

【生徒】

- ・他の高校の英語力がどれくらいなのか知ることが出来たし、自分の英語力がまだまだなことが知れたので、これからの勉強に生かしていきたいです。（熊本西）
- ・立場2は、すごく難しくて焦ってしまったが、チームのみんなと協力してできたので楽しかったです。次は、ベストディベーターショーに選ばれたいです！（熊本第二）
- ・とても楽しく、学ぶことができました！（熊本西）
- ・みんなと協力して頑張れたことがすごく楽しかったです！（熊本商業）
- ・最初はとても緊張していましたがだんだんとリラックスでき、楽しめるようになりました。今回の交流会で自分に自信をつけることができました。（熊本第二）
- ・手応えを感じることもできたのでとても楽しかったし嬉しいかったです。（水俣）
- ・自分の言いたいことを英語になおすのは難しかったです。（鹿本）
- ・自分の英語力を磨けたと思う。（熊本）
- ・自分の意見を言うだけでなくほかの高校の意見も聞くことができ、英語力の高さや視野の広さに驚かされた。ほかの学校の人とも交流することができて自分の課題やできることが分かったの、今後も英語の勉強を頑張りたいと思った。（宇土）
- ・いつもは経験できないことができて緊張したけど楽しかった。（熊本北）
- ・自分の言いたいことを言えるようになった、自分の成長を感じられたから。（熊本）
- ・初めての経験で、緊張もあったが意外にも楽しんでできたのでとても良かった。（熊本西）
- ・自分の英語が相手に伝わって、意見を返してもらえるとというのが自信になったし、とても楽しかった。（熊本第一）
- ・緊張したけど楽しめました。（八代）
- ・自分の英語が相手に理解してもらえたことが嬉しかったし、身振り手振りやアイコンタクトなど自分が意識したところをジャッジの方にちゃんと評価してもらえたことが嬉しかったからです。（熊本第二）
- ・英語力だけではなくディベート力もつけなくてはいけないなと思いました。すごく上手に話す人達が沢山いて、私たちと同じ高校生だと思うと、とてもすごいなと思いました。今回は思うようには出来なかったけど来年参加することが出来たらもっと力をつけてのぞみたいと思いました。（鹿本）
- ・他校の人とディベートをするのが初めてだったので緊張したけれど、しっかり自分の意見を伝えられたのでよかった。（熊本第二）
- ・友達と一緒に議題を考えて共に議題を深めていくのが楽しかったからです。（宇土）
- ・自分の役割だけでなく、他のメンバーのサポートをするのも楽しかったです。自分の経験が活かせること、その場の知識が材料になることなど魅力がたくさんありました。（熊本第一）
- ・本格的にディベートをしたのは初めてだったが、思っていたより楽しかったし、試行錯誤しながら良い意見を出していこうとするチームの雰囲気がとても良かった。英語で意見を言い合うという経験ができて良かった。やりがいを感じた。（熊本第二）
- ・上手く言えているかわからなかったけど、頑張れました。（八代）

【教員】

- ・生徒たちのディベートを通して多くのことを学ぶことができました。また、ジャッジの方もすることができ、とても勉強になりました。
- ・生徒たちが試合を通してディベートの力が向上しているのを感じることができ良かった。
- ・様々な学校のディベートに対する取り組み方が見えてよかったです。
- ・高校生頑張る姿を見ることができて、とても刺激になった。生徒達も、やってみることが大切なのだという感想がきけたのもよかった。不慣れな点が多く、参加してくれた生徒達には迷惑をかけてしまったと思います。ジャッジコメントを実際に出すことをやってみると、こちらの力不足も感じました。今後の授業に活かしていければと思います。
- ・勉強になりました。生徒たちの姿勢に学ばされました。
- ・生徒が一生懸命ディベートに参加している姿を見て、やはり教育効果があると感じました。今少しだけディベートを授業で取り入れています。生徒は楽しそうです。
- ・聞き取るにあたり、メモが追いつかないことに焦りました。これからの時代は英語の内容をいかに効率よくメモを取るかの指導も大切だと痛感させられました。また教育現場はますますオンライン化が必要不可欠になり勉強する必要があると実感しました。
- ・各校の生徒さんが一生懸命ディベートに取り組んでいる様子を見て、非常に刺激を受けました。ジャッジも難しかったのですが、プラス面と改善点を考えながらコメントすることも含めて、とても良い経験になりました。昨年11月に実際にディベートを体験して、今回はジャッジを体験しましたが、両方ともとても勉強になりました。ジャッジは、良かった点はたくさん言えましたが、改善点をコメントするのが難しかったです。
- ・ジャッジは大変でしたが、懸命に英語を話そうとする生徒の姿に胸を打たれました。試合を重ねるごとに、論と論の整合性や主張の強さを見抜けるようになり、自身の成長が感じられた点も良かったです。
- ・ジャッジに関しては、前回の研修からブランクがあり、コロナの影響があり、授業でも本格的にはディベートの練習もできず、ジャッジも全く慣れないままに研修を迎えました。事前資料は読んでいましたが、実際やってみると分からないことが多々ありました。オンラインでの開催ということで、音声聞き取りにくかったり、画面が写らなくなったりといったこともありましたが、土曜日ということで、他の職員に聞くこともできず、英語だけでなく、自分のICTに対する能力面での課題も見えたように思います。ディベートに関しては、参加された生徒さんの堂々と自分の意見を伝え合う姿に、大変刺激をいただきました。英語でのディベートは簡単ではないと思いますが、まずは挑戦し、それを続けていくことが重要だと感じました。本日はありがとうございました。
- ・ディベートのジャッジの伝え方が難しいと感じた。メインジャッジの時に生徒に上手にコメント返しができず、悔しい思いをした。
- ・ジャッジは難しい面もありましたが、前回習ったことを生かしてどうにかできました。生徒達が苦戦しながらもどうにか意見を言おうとする努力が見えました。どの生徒達もとてもよく英語を話しており、なるほどと納得できる意見もたくさんありました。生徒も教員も場数を踏むことが大事だと実感しました。今後も研修に参加してジャッジの技術や自分の英語能力を磨いていきたいと思っています。
- ・いろいろな高校の生徒と顔を合わせることができ、大変刺激になりました。